

令和5年3月12日

那賀医師会 会員各位

那賀医師会

地域医療担当理事 田中 賢

## 令和5年度 第8回公立那賀病院との合同勉強会のご案内

公立那賀病院との合同勉強会を下記のとおり行います。ご多忙中とは存じますが、多数のご参加をお願い致します。

### 記

日 時：令和5年3月14日（木）午後4時から

場 所：公立那賀病院 北別館 1階講義室

演 者：公立那賀病院 整形外科  
医監 木下 裕史 先生

演 題：「関節リウマチの治療」

抄 録：別紙をご参照ください。

※この勉強会は日本医師会生涯教育講座：1単位  
カリキュラムコード：（ 61 ）を申請中です。

※お手数ですが、B会員の先生方にもご案内下さいますようお願い致します。

## 別紙

関節リウマチ（RA）治療には主要な 4 本柱があり、患者教育、薬物治療、リハビリテーション、手術療法である。治療内容と治療目標は 2000 年から 20 数年経過し大きな変貌を遂げた。2002 年に米国リウマチ学会が、診断後速やかに DMARDs を開始すべきことを強調した関節リウマチ診療ガイドラインを策定した。以後、欧州リウマチ学会、日本リウマチ学会でもガイドラインが策定され、エビデンスに基づき改訂がされ、早期 DMARDs の開始が強調されている。

RA は現時点では完治することのない慢性疾患である。RA の治療は長期的視野で管理される必要がある。長期的目標は、生命予後の改善と生活の質の維持である。そのためには疾患活動性制御通じて関節破壊や機能障害を予防することが重要である。タイトコントロールすることが良好な予後をもたらすことが証明された。Treat-to-Target として寛解を目標として管理する戦略が重要である。

RA 治療はメトトレキサート (MTX) が臨床応用されて以降著しく改善され、生物学的製剤や JAK 阻害薬が次々に開発され著しい治療改善につながっている。関節リウマチ診療ガイドライン 2020 薬物治療アルゴリズムに従い、最新の関節リウマチ治療の Up to Date について述べる。また主要な薬剤の使用上の注意点についても述べる。